

# 仕事を取り巻く男女間意識調査 ～定量調査から見る男女の意識～

博報堂キャリアジョ研プラス [2022年10月実施]

# CONTENTS

## 目次

1. 調査概要
2. 仕事を取り巻く男女間意識調査結果
3. サマリー/世代別特徴まとめ
4. 本調査に関する利用規約



# 調査概要

- 調査目的：仕事を取り巻く男女の意識や実態を明らかにする
- 調査手法：インターネット調査（全国）
- 調査対象者：20～50代の男女 計2,400 s

## <条件>

- 仕事をしている  
（総合・専門・一般や派遣・パートアルバイトなどは問わない）
- 個人年収が200万円以上
- 未既婚は問わない
- 子供の有無は問わない

		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	計
女性	20-24才	5	8	50	26	23	11	15	139
	25-29才	6	10	61	30	25	13	18	163
	30-34才	6	11	58	30	25	14	19	164
	35-39才	7	14	63	35	28	17	23	188
	40-44才	9	16	75	43	34	20	27	225
	45-49才	11	18	92	53	43	24	29	270
	50-54才	10	16	82	46	38	21	26	239
	55-59才	9	16	68	41	33	19	25	212
合計	65	111	548	305	250	139	182	1,600	

\*2020年国勢調査 20-59才女性・就労人口構成比に準ずる

		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	計
男性	20-24才	1	2	11	6	5	3	3	30
	25-29才	1	3	14	8	6	3	4	39
	30-34才	2	3	15	9	6	4	5	43
	35-39才	2	4	18	10	7	4	6	50
	40-44才	2	4	20	11	8	5	6	57
	45-49才	3	4	24	13	10	6	7	67
	50-54才	2	4	22	12	9	5	6	59
	55-59才	2	4	19	11	8	5	6	54
合計	16	28	142	79	60	34	42	400	

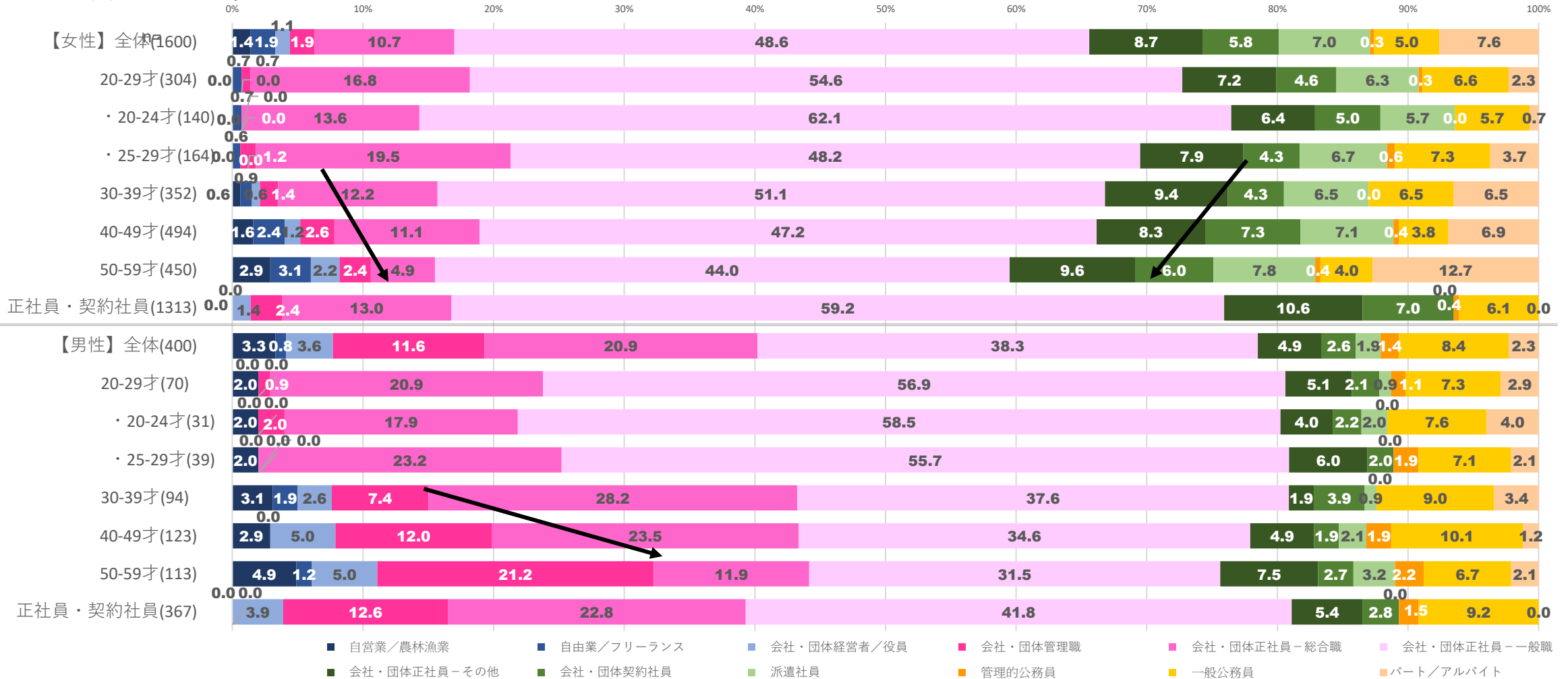
\*各年代セル均等に割り付け・回収後、  
集計時に就労人口構成比に準じたウェイトバックを実施  
男性は各セル50ss

- 調査時期：2022年10月14日～2022年10月21日
- 調査主体：博報堂キャリアジョ研プラス
- 調査実施機関：マクロミル社のモニターを利用 ※アンケート画面はエム・アール・エス広告調査(株)が作成

# 職業

全体の傾向として、男性は正社員の割合が女性よりも高い  
 男性は年代が上がるほどに管理職割合が増えていく一方で、女性はその傾向が見られない  
 逆に女性年代が上がるほど派遣・契約社員やパートアルバイトの割合が増えていく傾向に

SC8:あなたのご職業をお選びください。

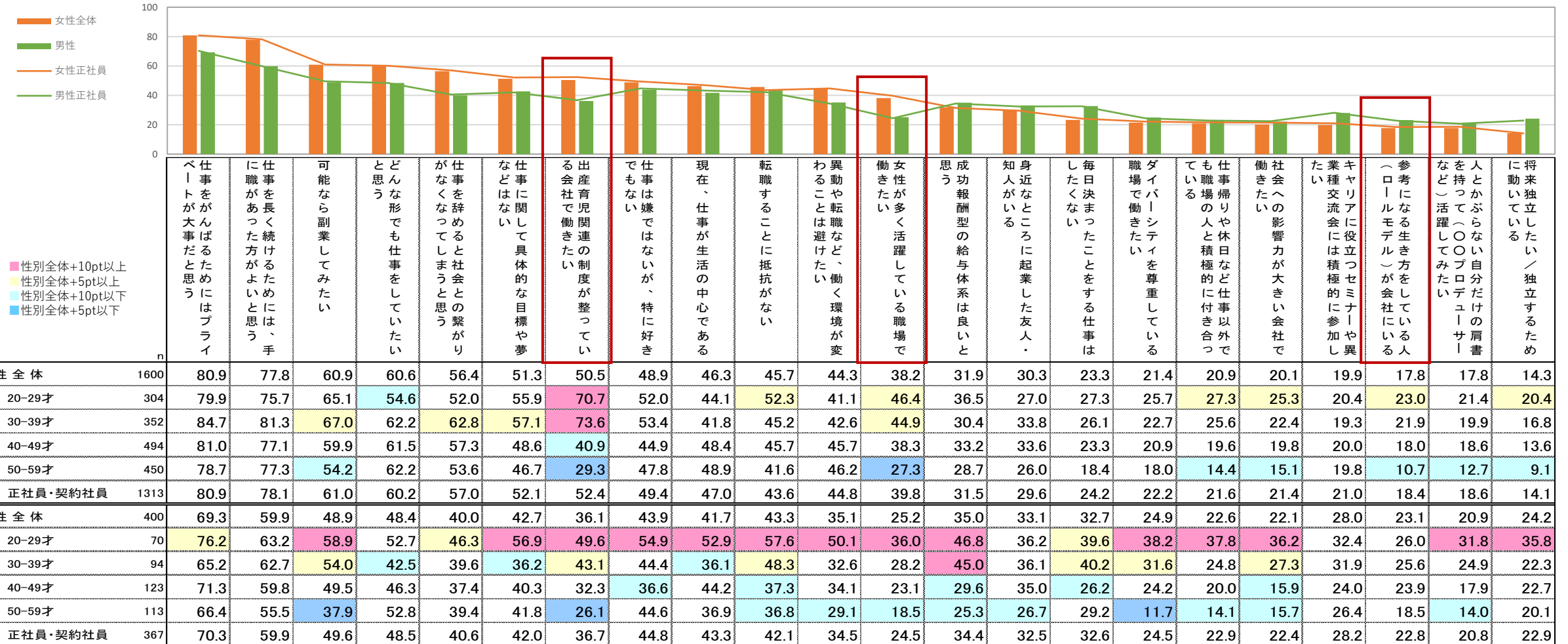


# 仕事意識 (TOP2)

全体的に女性の方が回答する意識が高く、仕事に対する意識が高いことがうかがえる

女性において「職場にロールモデルがいる」が男性よりも低く、「女性が多く活躍している職場で働きたい」願望は強い  
 男女で差がついているのは「出産育児関連の制度が整っている」「女性が多く活躍している」会社で働きたい

Q6:以下の“仕事に関する意見や考え方”について、あなたのお考えに近いものをそれぞれひとつずつお選びください。

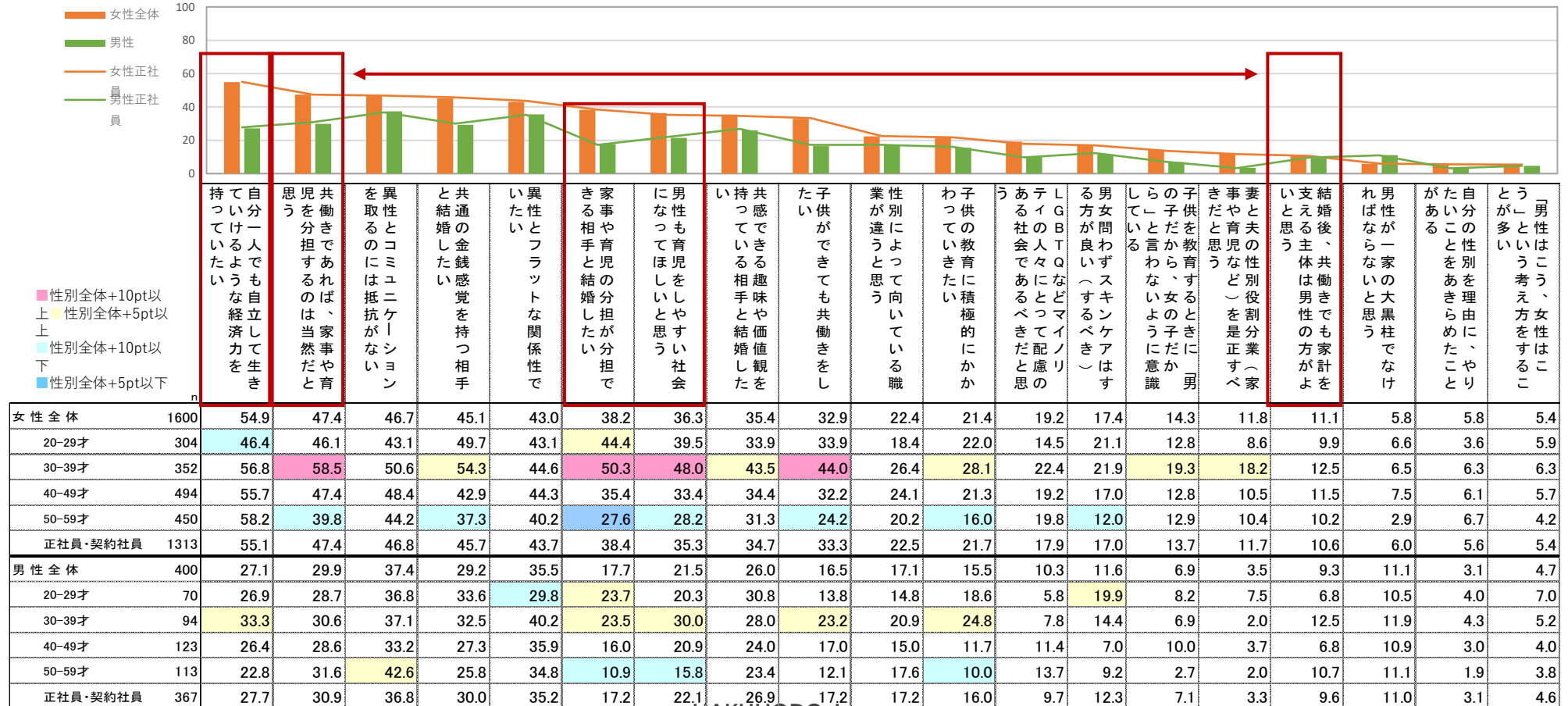


# ジェンダー観、結婚観や子育て観に関する質問

共働きの場合は互いに家計を支える方が良いと思っており経済的には対等な意識が強いが、

「家事育児分担は当然」が男性3割弱と家事育児分担意識になると男性がいまだ低く、家庭内で不平等な状況が伺える女性の方が家事育児の分担を相手に求めるなど家庭内におけるジェンダー平等、社会や職場の変化を強く意識している  
 また「自立した経済力を持ちたい」で大きな差がある（既婚者が多い30代以降で「自立」の意識が高い背景としては、結婚したがパートナーに頼りきりになるのが不安/結婚をせずに一人で生きていきたいという意識の表れか）

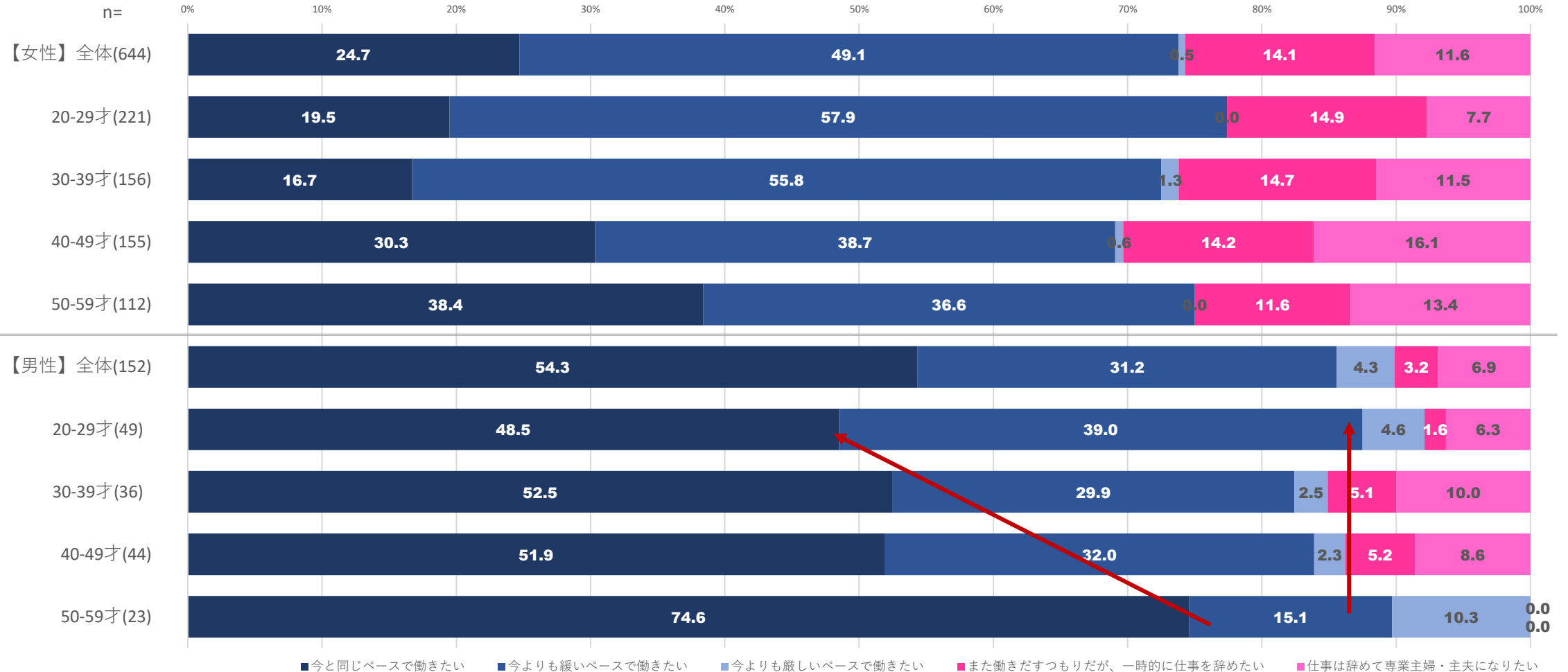
Q21以下の“ジェンダー観・結婚観・子育て観”について、あなたが共感したり、自分にあてはまると思うものをいくつかもお選びください。  
 Q22:以下の“恋愛や結婚に関する考え方や傾向”について、あなたが共感したり、自分にあてはまると思うものをいくつかもお選びください。



# ライフプランと仕事【子どもが生まれた後】（未婚者ベース）

男性では若い年代ほど「今よりも緩いペースで働きたい」と答える人が増える傾向  
 “養わなきゃ、よりも、一緒に育てたい”へと意識変化か

Q3:あなたは子どもが生まれた後、どのように働きたいですか(働いていますか)。

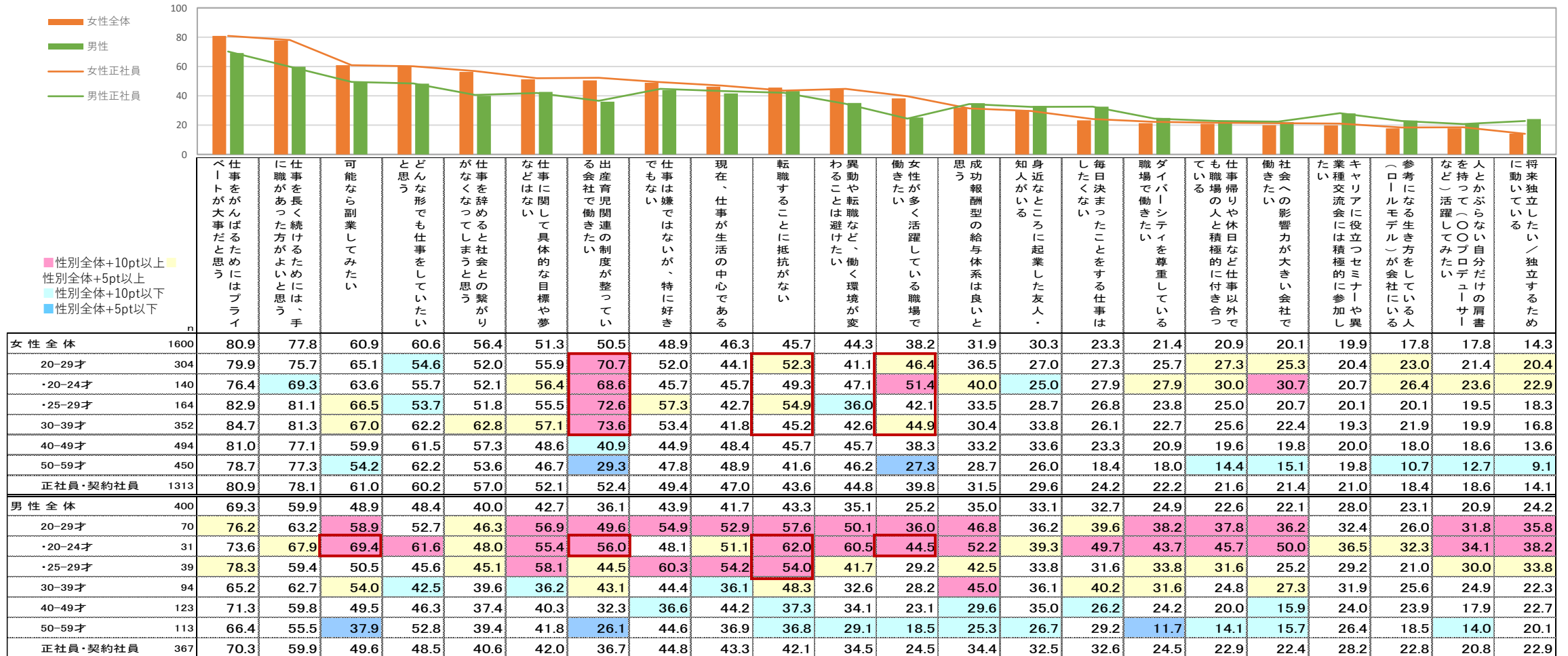




# 仕事意識 (TOP2)

男性全体では低かった「出産育児関連の制度が整っている会社」「女性が多く活躍している職場で働きたい」は、20代前半男性が他の世代と比較して高い傾向に  
 また20代前半男性は副業や転職意向も高く、副業意向は7割と、一つの会社に縛られたくない意識も強い  
 女性は若年層ほどゆるやかに転職意向や独立志向が高く、女性にフレンドリーな企業であることも意識している

Q6:引き続き、以下の“仕事に関する意見や考え方”について、あなたのお考えに近いものをそれぞれひとつずつお選びください。





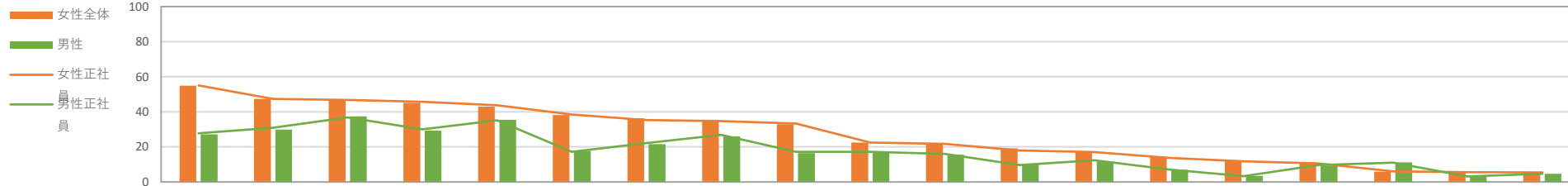
# ジェンダー観、結婚観や子育て観に関する質問

20代前半男性において「家事育児の分担をするのは当然だと思う」が突出して高い傾向

20～30代において、半数近くの女性が「家事や育児が分担できる相手と結婚したい」と回答しているが、男女ともに20～30代と40代以上とで大きな差が見受けられた。

また家事育児に関する項目に関しては、当事者となりやすい30代で男女ともにスコアが高くなる傾向に

Q21以下の“ジェンダー観・結婚観・子育て観”について、あなたが共感したり、自分にあてはまると思うものをいくつかもお選びください。  
 Q22:以下の“恋愛や結婚に関する考え方や傾向”について、あなたが共感したり、自分にあてはまると思うものをいくつかもお選びください。



	女性全体	20-29才	・20-24才	・25-29才	30-39才	40-49才	50-59才	正社員・契約社員	男性全体	20-29才	・20-24才	・25-29才	30-39才	40-49才	50-59才	正社員・契約社員
持っていて一人でも自立して生きていけるような経済力を	54.9	46.4	45.0	47.6	56.8	55.7	58.2	55.1	27.1	26.9	22.5	30.3	33.3	26.4	22.8	27.7
子育て観	47.4	46.1	47.9	44.5	58.5	47.4	39.8	47.4	29.9	28.7	36.1	22.9	30.6	28.6	31.6	30.9
共働きであれば、家事や育児を分担するのは当然だと思う	46.7	43.1	40.0	45.7	50.6	48.4	44.2	46.8	37.4	36.8	31.5	41.1	37.1	33.2	42.6	36.8
異性とコミュニケーションを取るのには抵抗がない	45.1	49.7	45.7	53.0	54.3	42.9	37.3	45.7	29.2	33.6	39.9	28.7	32.5	27.3	25.8	30.0
共通の金銭感覚を持つ相手と結婚したい	43.0	43.1	43.6	42.7	44.6	44.3	40.2	43.7	35.5	29.8	31.5	28.5	40.2	35.9	34.8	35.2
異性とフラットな関係性でいる	38.2	44.4	44.3	44.5	50.3	35.4	27.6	38.4	17.7	23.7	23.5	23.7	23.5	16.0	10.9	17.2
家事や育児の分担が分担できる相手と結婚したい	36.3	39.5	38.6	40.2	48.0	33.4	28.2	35.3	21.5	20.3	23.2	18.0	30.0	20.9	15.8	22.1
男性も育児をしやすい社会になってほしいと思う	35.4	33.9	35.0	32.9	43.5	34.4	31.3	34.7	26.0	30.8	35.7	27.0	28.0	24.0	23.4	26.9
共感できる趣味や価値観を持っている相手と結婚したい	32.9	33.9	35.7	32.3	44.0	32.2	24.2	33.3	16.5	13.8	23.4	6.1	23.2	17.0	12.1	17.2
子供ができて共働きをしながら子育てを積極的にかかわっていききたい	22.4	22.0	14.3	22.0	26.4	24.1	20.2	22.5	17.1	14.8	10.1	18.6	20.9	15.0	17.6	17.2
性別によって向いている職業が違うと思う	21.4	18.4	20.7	23.2	28.1	24.1	16.0	21.7	15.5	18.6	21.8	16.0	24.8	11.7	10.0	16.0
子育て観	19.2	14.5	12.9	15.9	22.4	19.2	19.8	17.9	10.3	5.8	5.6	6.0	7.8	11.4	13.7	9.7
男女問わずスキネクアはする方がよい(するべき)	17.4	21.1	20.7	21.3	21.9	17.0	12.0	17.0	11.6	19.9	25.8	15.2	14.4	7.0	9.2	12.3
妻と夫の性別役割分業(家事や育児など)を是正すべきだと思う	14.3	12.8	9.3	15.9	19.3	12.8	12.9	13.7	6.9	8.2	6.0	9.9	6.9	10.0	2.7	7.1
結婚後、共働きでも家計を支える主体は男性の方がよいと思う	11.8	9.9	6.4	10.4	18.2	10.5	10.4	11.7	3.5	7.5	9.6	5.9	2.0	3.7	2.0	3.3
男性が一家の大黒柱でなければならぬと思う	11.1	6.6	7.9	11.6	12.5	11.5	10.2	10.6	9.3	6.8	7.8	6.1	12.5	6.8	10.7	9.6
自分の性別を理由に、やりがあることをあきらめたこと	5.8	5.8	5.7	7.3	6.5	7.5	2.9	6.0	11.1	10.5	6.4	13.9	11.9	10.9	11.1	11.0
「男性はこう、女性はこう」という考え方をすることが多い	5.4	5.9	3.6	4.3	6.3	6.1	6.7	5.6	3.1	4.0	3.9	4.1	4.3	3.0	1.9	3.1

# サマリー

## 男女差

- 女性は働く人が増えている一方で、雇用形態や職種、役職には男性と比較してまだ差が存在しており、上の世代にロールモデルが少ないことも課題として浮き彫りになった
  - 「出産育児関連の制度がある」「女性が多く活躍している」会社を求める女性が多い
- 
- 共働きの場合は互いに家計を支える方が良いと思っており経済的には対等な意識が強いが、家事育児分担意識になると男性がいまだ低く、家庭内で不平等な状況が伺える
  - 男女別では女性の方が、家事育児分担、職場での制度利用、家事育児のジェンダー平等を強く意識

## 変わってきていること・兆し

- 若年層において、男女ともに「子供が生まれた後は緩いペースで働きたい」と思う人が多い
  - 20代前半の男性は、上の世代の男性と働き方の意識が異なり、女性の回答に近く全体的にスコアが高い傾向  
「出産育児関連の制度」「女性が多く活躍している」「ダイバーシティを尊重している職場で働きたい」も高く、ダイバーシティは若年にとって一般化している様子が見える
- 
- 20代前半男性において「家事育児の分担をするのは当然だと思う」が突出して高い傾向
  - 20～30代において、半数近くの女性が「家事や育児が分担できる相手と結婚したい」と回答
  - 家事育児に関する項目に関しては、当事者となりやすい30代で男女ともにスコアが高くなる傾向

## まとめ

- ①女性が働くことは当たり前になってきたが、雇用形態や昇進、ロールモデルの有無などの点でいまだに男性優位
- ②働き方や職場環境について、男性若年層を中心に今後の意識変化の兆しが見える結果に
  - ・男性若年層は「子供が生まれたら緩やかに働きたい（一緒に子供を育てたい）」意向が高い
  - ・男性若年層は「福利厚生がある/女性が活躍している会社を望む」人が多い
- ③共働きが増えてもなお、家事・育児を行う意識は男性がいまだ低く、ジェンダー役割分担意識が残る
- ④一方、若年層男性を中心に家事育児を行うことは当たり前になりつつある傾向  
女性の中でも、結婚相手として家事育児ができる人を選ぶ意識が増加

# 世代別特徴まとめ

女性

## ジェンダーロール モヤモヤ世代

女性の社会参画が進み、#metoo運動などもリアルタイムで見てきた世代。  
仕事でもプライベートでも、ジェンダーロールに違和感を感じ、  
フラットな関係を求める土台が広くある

## ジェンダーロール 受け止め世代

「男社会」で生きてきた感覚を持っており、  
仕事においてもプライベートにおいても  
「女性の役割」を受け入れている人も多い

20歳

z世代

25歳

ミレニアル世代

40歳

ポスト団塊ジュニア世代

59歳

男性

## ジェンダー平等デフォルト世代

働く女性が多い環境で育ってきた世代、  
仕事でも女性がいるのは当たり前だし  
むしろいてほしいと考え、  
プライベートでもフラットな関係性を  
望む

## ジェンダー平等キャッチアップ世代

世の中の潮流も受け、職場のジェンダー平等  
を気にしている  
結婚・育児のボリュームゾーンになるため、  
男性の育児参加などには強い関心を持っている

## ジェンダー平等ビフォア世代

ジェンダー平等について最近聞いてはいるが、  
仕事でもプライベートでもこれまで長い間  
慣れていた考え方を持っている傾向にある

# 本調査に関する利用規約

## 「仕事を取り巻く男女間意識調査」利用規約

### < 著作権等に係る注意事項 >

「仕事を取り巻く男女間意識調査」に含まれる一切の情報（以下、「本情報」といいます。）に関わる著作権その他一切の知的財産権は、博報堂キャリアジョ研プラスに帰属すること。

### < 遵守事項 >

- 本情報を使用したことにより、本情報使用者（以下「使用者」といいます。）及び第三者に損害が生じた場合でも、博報堂キャリアジョ研プラスは一切の責任を負わないこと。
- 本情報を使用する場合には、出典「仕事を取り巻く男女間意識調査」Copyright 博報堂キャリアジョ研プラスAll Rights Reserved.を必ず明記すること。
- 本情報を使用する際は、十分な期間を設けて、予め博報堂キャリアジョ研プラスに内容の確認依頼をすること。

THANK YOU!

[お問い合わせ]

博報堂キャリアジョ研プラス  
kyarijoken-plus@hakuodo.co.jp